

二日連
続口演

二〇一五年

語りで味わう日本の四季

六月二七日(土)午後六時開演

六月二八日(日)午後二時開演

- 一、樟脳王 夏の噺
- 一、紫檀楼古木 秋の噺
- 一、百年目 春の噺

- 一、鼓ヶ瀧 春の噺
- 一、親子茶屋 秋の噺
- 一、掛け取り 冬の噺

おはやし 松尾あさ

一日目は人情噺の大ネタ「百年目」を!

二日目はおはやしが加わって華やかに!

新の

春 夏 秋 冬

林家正雀

はやしや しょうじやく

歯切れのいい人情味あふれる語り口で、新潟の観客の心をとらえた正雀師匠。今夏も二日連続の口演です。今年「春夏秋冬」という趣向で、日本の四季を感じていただきます。語りは人間ドラマとともに、さまざまな情景や空気を心に刻んでくれます。お楽しみに!

砂丘館

旧日本銀行新潟支店長役宅

〒951-8104 新潟市中央区西大畑町5218-1
tel./fax.025-222-2676
sakyukan@bz03.plala.or.jp

指定管理者-新潟絵屋-新潟ビルサービス特定共同企業体



会場 砂丘館 居間・座敷・茶の間
 定員 各日とも 50名
 参加料 6月27日 3,000円 (小・中学生 2,000円)
 6月28日 3,000円 (小・中学生 2,000円)
 2日通し 5,500円 (小・中学生 3,500円)

主催 砂丘館

申し込み 電話・ファックス 025-222-2676 (砂丘館)
または E-mail sakyukan@bz03.plala.or.jp へ

*ファックス、E-mailでお申込の場合は連絡先(電話番号)、人数を併記してください。

会場には駐車場がありません。また、周辺の道路は駐車禁止です。公共交通機関をご利用ください。
●新潟駅からのバス:西循環(12-12A系統)又は観光循環バス「西大畑坂上」バス停下車徒歩1分
●新潟市西堀地下駐車場をご利用の方は、駐車券提示にて1時間分の無料券を差し上げます。

噺の手引き 林家正雀



六月二十七日

樟脳玉

樟脳とは、クスノキから採った芳香のある揮発性の白い半透明の結晶。防虫剤にする。と辞書に書いてありますが、それを固めたのが樟脳玉という子供の玩具になったそうです。それを使って金儲けを企む二人ですが……

紫檀楼古本

狂歌の宗匠で、紫檀楼古本という方の噺です。有名な歌に、「振(降)り出しの日本橋から雨に濡れ抜けるほど降る鞆町(さやちよう)の角」があります。以前は大家の旦那様でしたが、只今では……

百年目

もともと上方の噺で、桂米朝師匠が十八番になさっていて、こちらでは、六代目圓生師匠が得意になさっていました。私は圓生師匠のお弟子の内孫師匠から教えていただきました。大ネタですから実に難しいのですが、人を育てる上で含蓄のあるいい噺だと思います。

六月二十八日

鼓ヶ瀧

西行法師行脚のうちの伝説話です。「鼓ヶ瀧」の歌を推敲する話として、和歌に興味を持たれている方には、もってこいの話です。

親子茶屋

これも上方の話として、東京では久しく演られてなかったのを復活してみました。噺は落ち(サゲ)が肝心ですが、これほど素敵を落ちばちよとないです。

掛け取り

鳴り物噺として、義太夫と芝居を演じます。この噺は演者の得意なものを演じることになっていて、そこが楽しい噺です。

林家正雀

落語家。一九五一年一月二日山梨県生まれ。七四年に八代目林家正蔵(のち孝六)に入門し、前座名繁蔵。七八年正雀で二ツ目。八三年同名のまま真打。



私たちは砂丘館の自主事業を応援しています。

新潟日産自動車株式会社

株式会社 新潟ビルサービス

雲あられ株式会社

創業明治11年 丸屋本店

NSGグループ

藤田金属

株式会社 ナレッジライフ

郷土の文化に親しむ会